

今回から、不定期に会員の皆さんのお話を掲載します。その第一弾はやはりこの方、NPO 南信州おひさま進歩代表理事である松江良夫さんです。NPO に関わる話から戦中戦後の体験談まで、いろいろな話をお聴きました。

人生の大先輩の声！！松江代表理事に聴く（前編）



☆ NPO 発足に至ったいきさつは？

・飲食店組合の長野県代表をしていた当時、地球温暖化が大きな社会問題になっていて、他県の組合が残飯の堆肥化に取り組んでいる様子を視察しました。長野市でも生ゴミを豚の餌に利用する活動をしていて、あらためて飯田でも温暖化対策に取り組みたいと感じました。自分たちにも何か出来ることは無いかと模索していた、そんな時に飯田市環境課の紹介で出会ったのが現事務局長の原さんです。飲食店から排出される、廃油や使用済

割り箸の有効利用を目指して活動を始め、今に至ります。

☆ これからの NPO 南信州おひさま進歩の活動は？

・NPO の運営には人件費がかかり、現在はおひさま進歩エネルギー(株)におんぶにだっこの状態ですが、会員の皆さんに協力してもらいながら、環境学習を今までのように続けて行きたいです。太陽光発電の下で、アスパラやウドの栽培をしたり兔や羊を飼う研究も出来ると面白いですね。

☆大正6年1月5日生まれで年明け早々に満98歳になられますが、幼少期からのお話をお聞きます。

・生まれは伊賀良中村で、農家の次男坊でした。幼い頃、母に「お前は弱いものの味方になりなさい。」と言われその言葉を胸に、今日まで生きてきました。

下伊那農学校を卒業後、実家の農業を手伝いながら半年ほど過ごした頃、農学校の先生から助手として学校で働かないかと誘われ再度通うことになりました。家畜の世話や農作業をしながら住込みで働くようになり、先生の資格を取って教員に。その後、今の喬木村富田にあった喬木第二青年学校に勤めていた時に、赤紙が届き兵隊に召集されました。

続きは次回

〔事務局感想〕

実家の農業を手伝いながら梅干と水で二週間を過ごした秋の話や、教員時代の武勇伝など沢山のお話をお聞きできました。NPO 発足時からいろいろな面で、影になり日向になりご尽力いただいている松江さんのお話をお聴きして、「初心忘るべからず」という言葉が浮かびました。

喬木総合文化祭報告

先月の通信でお伝えしましたが、11月は沢山の文化祭に参加しました。その中のひとつ、11月8日は喬木村の総合文化祭でした。喬木村中央社会体育館 芝生グラウンドで行われた文化祭は、これまで出展した文化祭とくらべかなり人が多く、ブースを訪れるお客さんも切れ目無くひっきりなしという状況でした。



幼児・小学校低学年には、ソーラーカーなどおもちゃを太陽光発電で動かす様子を見て楽しんでもらい、小学校高学年・中学生には、環境省エネクイズをして気候変動や環境問題について学習のきっかけとしてもらいました。また大人を対象として、テレビ・掃除機・LED・白熱球の消費電力と使用金額について学習してもらいました。

今回の文化祭出典をきっかけに、喬木村新エネルギー推進協議会と提携して子供たちへの環境学習をしてほしいとの要望がもらえ、大きな収穫となりました。

今後の予定

- ・旧測候所プロジェクションマッピング 12月21日(日) 17:00~21:00
- ・ライトアップとイルミネーション 12月14日(日)~12月21日(日) 17:30~21:00

面白倶楽部の方々が相当力を入れていただきますので、見ごたえのあるイルミネーションになると思います。是非皆さん、足を運んでみて下さい。期間中は、旧測候所駐車場は使用できませんので、さんとぴあ飯田の駐車場をご利用下さい。

NPO 法人南信州おひさま進歩

事務局 小室 竹村

電話：0265-24-4821

FAX：0265-56-3712

メール：sunpo@leaf.ocn.ne.jp



編集後記

11月の通信が遅れて12月に入ってから配布となり、大変申し訳ありません。

とうとう師走となってしまう、旧測候所の落ち葉掃きもあと少しで終わりになりそうです。四季を感じられる建物に入居していると、心を癒されることもありますが、裸になった木々を見ると冬の寒さを余計に感じそうです。

今年も残すところあと一ヶ月。忙しい中でも一日一日を大切に過ごしたいですね。

(竹村)